

教育長 退任・就任のごあいさつ



松尾 紘
(志佐町・里1、71歳)

私、3月31日をもって教育長の職を退きました。顧みますと9年1カ月、松浦市の次代を担う「心のぬくもり」を兼ね備えた人づくりと教育環境づくりのために、非才の身で微力ながら邁進することができましたことは、市民の皆さまの物心両面にわたる温かいご支援、お力添えの賜物であると感謝の気持ちでいっぱいです。心からお礼申し上げます。

これからは地域から松浦の子どもたちへの支援に関わっていけたらと思っております。

松浦市のさらなる発展をお祈り申し上げます。大変お世話になりました。



今西 誠司
(星鹿町・星鹿、59歳)

私、4月2日付で松浦市教育長の職を拝命いたしました。

学校現場と教育行政での経験を活かし、文化、スポーツ、学校教育を充実させ、市民の皆さま一人一人が、生涯にわたって学び続けることができるような「教育のまち 松浦」を目指して、全力で取り組んでまいりたいと思います。

特に、将来の松浦市を担う児童生徒の知・徳・体の育成については、個に応じた指導を推進してまいります。

どうか、皆さまの温かなご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

わたしたちの郷土

121
巻



中世の松浦(87) 鷹島海底遺跡

3月19日と20日の両日、福岡市天神ライオン広場において「出張! バーチャル水中考古学ミュージアム by 長崎県松浦市」を開催しました。このイベントは、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金による「鷹島海底遺跡」と観光産業の融合事業として実施しました。

イベントでは、ドローン(無人航空機)や360度カメラなどの最新機器を使った鷹島海底遺跡のPR映像をヘッド・マウント・ディスプレイ(双眼鏡型映像装置:HMD)を用い公開しました。このイベントで使用したHMDは、現在、鷹島埋蔵文化財センターで体験することができます。最新の機器を使った臨場感あふれる乗船体験や迫力満点のPR映像をぜひ鷹島埋蔵文化財センターへお越しいただきご覧ください。

また、今回のイベント会場では、昨年6月から7月に行った鷹島2号沈没船の発掘調査で撮影した沈没船の俯瞰画像を初公開しました。調査時の海底の透明度は、良くても5メートル程度のため沈没船全体を見渡すことができません。そこで、新たな試みとして至近距離から撮影した静止画約3千枚を基に太陽光線の変化による色調や水中の歪みをデジタル補正しながら3次元画像を制作しました。この3次元画像を真上から見た状態にしたものが下の画像です。船体の形や隔壁の状況、バラストと考えられる石の広がりなど、沈没船の全体像を見ることができ、貴重な資料です。



▲ 鷹島2号沈没船俯瞰画像(撮影・編集/町村 剛)

Happy Hanami! — ハッピー花見! —



パトリック・マグワイヤ
Patrick Maguire
オーストラリア出身

松浦に来てたくさんの「初めて」を経験しています。例えば、初めて海外で過ごすクリスマス、初めての雪、そして初めての桜の季節!

先日、日本の春の行事「花見」に誘われました。寒い冬を過ごした後ということもあってか、花が咲き始めて、木々が色づき、良い香りにつつまれた公園と自然に圧倒されました。冬の寒さも良い経験でしたが、今、冬も終わり、春がやってきたことをうれしく思います。

花見では、友達と一緒に、公園の隅の桜の木の下に場所をとりました。私たちの頭上には、桜の枝が伸び、桜の屋根の下にいるようでした。日本といろいろな国の食べ物、美味しい飲み物、音楽、仲間、そして笑いがある素敵な午後を過ごしました。

日が暮れると、桜の木と公園の様子が変わっていく

こんにちは!
外国語指導
助手です。



のが分かりました。公園には家族連れやグループなど多くの人々が到着し、桜の花びらの色もより深くなり、太陽の光が輝いていました。イルミネーションも輝き、私は一瞬、ふしぎの国にいる気持ちでした。

満開の桜を見ることだけではなく、私は新しい季節の始まりが人々をどんなに幸せな気分にするのかを見ることができました。

学校でも、職場でも、家庭でも、家族のことで、友達の間でも、ただ単にあなた自身のことについても、春は変化の季節でもあり新しいことが始まる季節ですね。



図書館の おすすめ

BOOK
本

市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『九十九藤』

西條 奈加 / 著 集英社

江戸の人材派遣業、口入屋の女主人お藤。波乱の人生を歩んできたお藤は店を立て直すために商いを一新。常識外れの勝負は傾きかけた店を繁盛させていくが…。人が持つ力を信じ、自らの道を信じ、人生を切り開く姿が胸を打つ感動の長編時代小説。



『たこやきのたこさぶろう』

長谷川 義史 / 著 小学館

旅に出ようとする“たこやきのたこさぶろう”。家族にとめられても、なかまにとめられても、たこさぶろうにはどうしても行かねばならない深い理由があったのです。「たこやきソング」の楽譜もついた、笑って歌って元気が出る長谷川さんの新作絵本です。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り!◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



南里友紀さんと一颯くん(9歳)と夏向くん(3歳)

【お気に入りの本】

『暗号クラブ』シリーズ ペニー・ワーナー / 著 株式会社KADOKAWA
『おばけのおつかい』 西平あかね / 作 福音館書店

【お母さんからひとこと】

就寝前か読み聞かせ＆読書の時間です。絵本を読み終わると「これ、やってみたい」、「どこにあるのかなあ」、「どうなっているのかなあ」と興味や関心がどんどん増えていきます。そして「明日しようね」と楽しみに眠っています。時には、ごっこ遊びなど色々な遊びへと広がっていくこともあり楽しいです。絵本や本は新しいことを知るきっかけだけでなく、親子、兄弟で向かい合って過ごす大切な時間をつくってくれています。

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館もお待ちしています!